

「ヒートアイランド抑制舗装」実証試験の概要

1. 試験期間 平成 18 年 7 月 10 日～平成 18 年 9 月 30 日
2. 試験場所 神奈川県横浜市中区山元町 2 丁目/大平町 2 番地/大芝台 1 番地
付近の市道(生活用道路)
3. 試験目的

横浜市の市道（生活用道路）に設置した「ヒートアイランド抑制舗装」の路面冷却効果の持続性の確認

「ヒートアイランド抑制舗装」の耐久性の確認

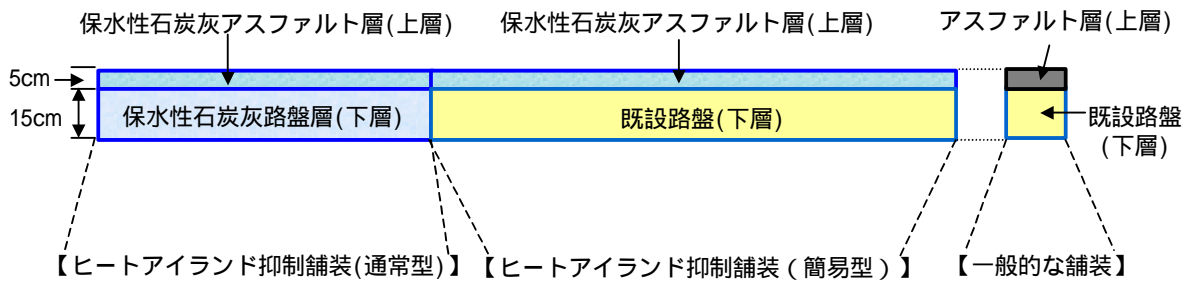
4. 試験概要
構造

以下の舗装を施し路面温度を計測。

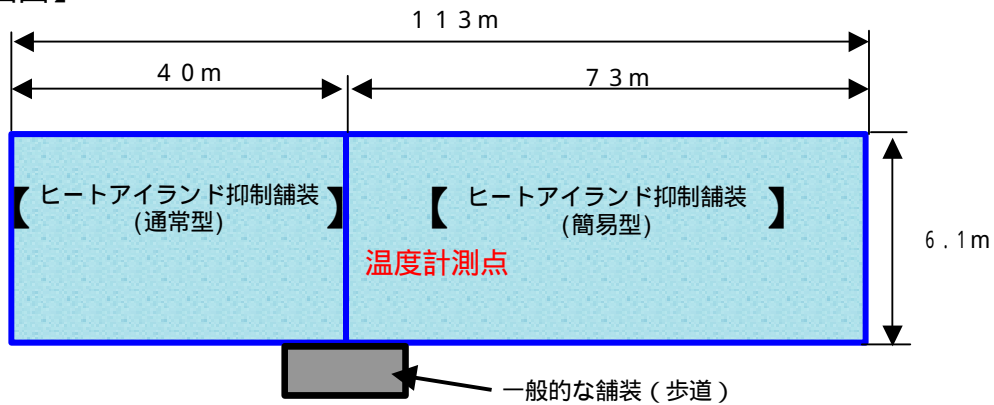
-) ヒートアイランド抑制舗装（通常型） 平成 21 年度以降の実用化を目指す
 - ・ 上層（5 cm）: 保水性石炭灰アスファルト層
 - ・ 下層（15cm）: 保水性石炭灰路盤層
-) ヒートアイランド抑制舗装（簡易型） 平成 18 年度中の実用化を目指す
 - ・ 上層（5 cm）: 保水性石炭灰アスファルト層
 - ・ 下層（15cm）: 既設の路盤層（使用されている路盤をそのまま活用）
-) 一般的な舗装（密粒度舗装）
 - ・ 上層（5 cm）: アスファルト層
 - ・ 下層（15cm）: 既設の路盤層（使用されている路盤をそのまま活用）

ヒートアイランド抑制舗装（通常・簡易）の保水性石炭灰アスファルト層にそれぞれ 3 箇所、一般的な舗装のアスファルト層に 2 箇所、路面から深さ 1 cm の位置に温度計を設置。平成 18 年 7 月 10 日から 9 月 30 日まで、15 分間隔で路面温度を計測。

【断面図】



【平面図】



一般に、舗装の補修などの際には、上層のみを張り替えるケースが多いため、既設の路盤を再利用しつつ上層に保水性石炭灰アスファルト層を施した簡易型の「ヒートアイランド抑制舗装」で路面冷却効果が実証されれば、より経済的で汎用性の高い「ヒートアイランド抑制舗装」の設置が可能となる。

施工状況

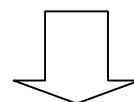
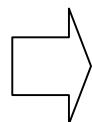
【施工前】



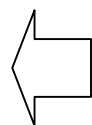
【施工後】



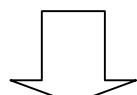
【保水性石炭灰路盤層(下層)設置】



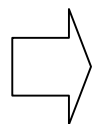
【保水材の充填】



【保水性石炭灰アスファルト層(上層)設置】



【路面仕上げ】



【完成】



位置図

